

# IR情報 平成16年4～12月報告

## 業績の概況

当社の平成16年度第3四半期（平成16年4月1日～平成16年12月31日）における業績についてお知らせします。

第3四半期に入っても、景気の回復は足踏み状態が続いています。当社を取巻く事業環境（社会環境、業界環境）は、相変わらず厳しい状況であります。しかしながら子会社広貴堂メディフーズ(株)では、新しい食品流通を開拓しコンビニエンスストアにおいてサンリキソDX3000の販売を開始いたしました。広貴堂薬品販売(株)では、沖縄の大手販売会社トキワ薬品との事業統合により下記に述べますトキワ広貴堂を設立し沖縄県におけるお客様の利便性と市場の拡大に努めています。このようにグループ会社が個々の自立を目指して努力いたしております。

当社では、次年度の更なる発展を期すために、経営計画策定に着手すると共に、その骨子と事業組織、管理職のミッションを決定し、スタートダッシュのための準備を進めています。

平成16年度第3四半期を終え、当社の売上高としては、76億53百万円余（前年同期比97.6%）1億92百万円余の減収となりました。前年同期と比べ減収になった背景としては、本年度より従来の直販事業部が広貴堂薬品販売(株)に、ヘルスケア事業部が日本薬剤(株)に、健康日本21推進部が広貴堂メディフーズ(株)に各々分割分社化や子会社への事業の移管により、その売上高が減少したためであります。計画比では3億9千万円、105%の増収となっております。収益面では本社工場における生産性の向上、滑川工場の本格稼働に加え全社上げての経費節減に努めた結果、経常利益が3億86百万円余、前年同期と比べて4億6百万円余の増益となりました。

また、12月1日より沖縄において広貴堂薬品販売(株)の子会社としてトキワ広貴堂(株)を、広貴堂沖縄営業所を(株)沖縄広貴堂として設立いたしました。2社とも沖縄県における配置卸部門と配置販売部門の強化を図り、沖縄県の特徴と独自性を生かした経営を行なってまいります。

### 平成16年度第3四半期報告（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

		H16年度 4～12月 (実績)	H15年度 4～12月 (実績)	対前年 同期比 (%)	H16年度 4～12月 (計画)
売上高	百万円	7,653	7,845	97.6	7,263
営業利益	百万円	329	-8	-	83
経常利益	百万円	386	-20	-	101
当期純利益	百万円	295	-160	-	101
資本金	百万円	1,395	1,395	100.0	
発行済株式総数	千株	10,380	10,380	100.0	
純資産額	百万円	6,144	5,567	110.4	
総資産額	百万円	16,522	15,275	108.2	
1株当り純資産額	円	594.78	537.89	110.4	
1株当り当期純損益額	円	28.58	-15.50	-	
自己資本比率	%	37.19	36.44	102.1	
自己資本利益率	%	4.80	-2.87	-	
従業員数	人	350	495	70.7	

### 平成16年度第3四半期グループ会社報告（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

		日本薬剤 株式会社 (実績)	広貴堂産業 株式会社 (実績)	広貴堂メデ ィフーズ(株) (実績)	広貴堂薬品 販売(株) (実績)
売上高	百万円	1,314	809	197	1,503
営業利益	百万円	32	30	-18	59
経常利益	百万円	33	30	-7	62
当期純利益	百万円	17	21	-7	58
従業員数	人	12	8	11	183